九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[36_1]図書館情報 : 九州大学附属図書館報 : 36(1)

https://doi.org/10.15017/10677

出版情報：図書館情報. 36 (1), pp.1-18, 2000-06-30. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

ISSN 0454-8213

九州大学附属図書館報

図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin Vol. 36, No. 1 (2000)

目　　次

図書館あれこれ…… 1
チャーチル閣下の化学兵器…… 3
第41回貴重文物展観及び公開講演会を開催…… 4
マルチメディア掲示板の設置について…… 5
本年度の研究開発室活動…… 6
筑紫中央図書室の開室について…… 7
平成12年度附属図書館商議委員名簿…… 9
平成11年度特別図書購入一覧……10
平成11年度図書館利用統計……11
自著紹介……15
本学関係者著作寄贈図書……17

図書館あれこれ

■

六本松分館長
押　川　元　重

今、教育改革が課題となっているのは、教育をめぐる環境が大きく変化してきていることにあると思います。その一つが学問情報の量および質における変化です。人々が学問情報の取得に苦労した時代とは違って、溢れる学問情報の中からいかに効果的に取捨選択するかが問われるようになっています。私は、大学１年生の夏休みにある知人の書棚の本をすべて読むという目標をたて、それを実行したことがありますが、もし当時も今のように本が溢れていたならば、そのような目標を立てることもなかっただろうと思います。

数年以上前のことになりますが、図書館学の専門家が投稿した新聞記事を読んで強い反発を感じたことがありました。当時の私は教養部長として六本松分館と関わるようになったことから、図書館というものに関心を持つようになったばかりでした。分館の運営経費の問題もありましたが、何よりも気がかりなことは、六本松地区で最も

立派な施設である分館が学生にあまり利用されていないということでした。日本で創造された漫画文化を大切にする意味で分館に漫画コーナーを設ける提案が出されたとき、私はそれが学生の分館利用の促進策になればという気持ちから賛成したことがあります。学生に図書館利用を習慣化させることはきわめて大切なことです。前記の投稿記事に対して強い反発を覚えたのは、そこに図書保存を重視するあまり図書利用を軽視する姿勢を感じたからです。

私自身が先端の研究情報だけを追う形で数学研究を進めてきましたので、図書資料の整備こそが研究の基盤形成と考えて大きなエネルギーをそこに注いでいる研究者がいることは十分には理解できないことでした。しかし、ある研究者が、重要な書籍は私費で購入しそれほど重要でない書籍は公費で購入するようにしていると話しているのを聞いたときは、はたと考えさせられました。それでは大学図書館に重要な書籍が残らないことになりかねないからです。研究者個人の都合だけが優先して大学としての学問の継承を軽視することになりかねないからです。それは学問の歴史を背景とした広い研究の裾野を自然に備えているヨーロッパの研究者に接して、それに比べたときの自らの研究の浅薄さを反省させられていたからでもありました。

学問情報の電子化を急ぐべきです。それによって情報収集の範囲が広がり速くなることは明かです。特に検索機能の充実と活用が期待できます。しかし、電子化された情報だけでよいということにはならないと思います。学問は頭脳、五感、口、手、足のすべてを動員して行うべき本性を持っているからです。学問の成果が書籍という形で表現され、その分量や装丁までを含めて発信しているものを受け止める感性を軽視してはいけないと思います。目前の目的のための情報収集には電子化された情報は効果的ですが、それは感性を刺激する要素が少ないという欠点を持っています。初年次学生を対象としたゼミナール科目で、資料調査のために大学図書館の書庫に初めて足を踏み入れたとき、整然と並んだ大量の図書を前にしてしばらく立ちすくんだと報告した学生がいました。そうした感動を生み出すものも大切にしたいものです。

これからの大学図書館にとっては利用を最も重視した運営を心がけることが大切です。保存も大切ですがその努力が業務の重点の置き方を含めて利用を抑制することがないようにすべきです。利用があってこその図書館であるという姿勢を貫き通すにはさまざまな制約がありますが、何よりも図書や学問情報の量と質が変化していることを考慮した業務内容の検討が心掛けられるべきです。国による規制も次第に緩みつつありますので知恵をしぼった図書館運営が必要だと考えます。

（おしかわ　もとかず　大学教育研究センター教授）

チャーチル閣下の化学兵器

医学分館長　井上尚英

第一次世界大戦が勃発した翌年の1915年４月22日、西部戦線のイープルでドイツ軍が連合軍に向けてボンベに詰めた大量の塩素ガスで攻撃してきた時から、本格的な化学戦争が始まった。イギリス軍は、すぐさま同じ塩素ガスで報復しようとしたが、残念なことにイギリスはそれを全く保有していないことが分かった。そこでなにか代わりの毒性の強い化学物質が必要となった。この塩素ガスより遥かに毒性が強いと当時誰もが考えていたのがシアン化水素であった。イギリスで卒先してこのシアン化水素を取り上げたのが陸軍省ではなく海軍省であった。当時海軍大臣をしていたのが、他でもないウィンストン・チャーチルであった。彼は即座に毒ガスとしてシアン化水素を採用することを決定した。

イギリス海軍省は、チャーチルに促されて、1915年５月からシアン化水素を化学兵器として利用する研究を開始した。海軍省は多くの化学者を動員して、化学兵器用にシアン化水素が拡散しないようにクロロホルム等を加えて苦労してシロップ状の液体を作り上げた。これは「ジェライト」と名付けられた。海軍省の了解の下に、予備的な攻撃実験が開始された。ジェライトを詰めたガラス瓶を数個篭に入れて航空機に搭載し、テームズ河の河口に投下した。ガラス瓶は粉々に割れ、そこに置かれた篭の中の動物の一部は死んだ。この実験はうまくいったと判断された。その結果、チャーチルの指令により、わざわざストラトフォードにシアン化水素製造のための大規模な工場が建設されることとなった。海軍省の購買部は軍需省に気兼ねせずにシアン化水素の原料となるシアン化ナトリウムを調達してまわった。この工場は1915年９月になってようやくジェライトの生産にこぎつけた。そして、大量のシアン化水素がストラトフォードに備蓄された。1916年７月、イギリス政府は、チャーチルのたっての要請によりこのシアン化水素を砲弾に充填して使用することを許可した。チャーチルはすぐにもこの砲弾を使用したかったが、時の実力者であった陸軍大臣のキッチナー卿は、頑としてチャーチルの提案を拒否し続けた。このため、イギリス陸軍はせつかく大量生産にこぎつけたシアン化水素砲弾は一度も使用することはなかった。そしてついに1916年末には、イギリスでは化学兵器としてのシアン化水素の研究に終止符が打たれることとなった。その結果、シアン化水素砲弾は、廃棄され、300トンものシアン化ナトリウムがフランス軍へ売却された。

一方、1915年４月のドイツ軍の塩素ガス攻撃に対して、フランス軍もなんら打つ手はなかった。やはりフランスも塩素を全く保有してなかったのである。フランスはためらわずにシアン化水素の製造を計画し、同年７月には、早くも砲弾への充填を始めていた。しかし、このシアン化水素砲弾の製造には大変苦労したようである。1916年６月末から始まったソンムの戦いでは、フランス軍は、思いきって大量のシアン化水素砲弾で攻撃した。６月27日から７月６日までの間に155㎜榴弾砲から約３万発もの毒ガス砲弾が発射された。この砲撃に対するフランス軍の熱狂ぶりは大変なものであったという。フランス軍当局は、この攻撃について化学砲弾による攻撃の中で最も効果的なものであったと発表していた。しかし、ドイツ軍からは何の反応もなかった。また、何の被害報告もでなかった。とにかく、フランス軍によるシアン化水素砲弾の攻撃はまったくの無駄だったのである。

シアン化水素は、戦場では急速に拡散してしまうため化学兵器としての軍事的価値がまったくないことが知られている。チャーチルが奔走し苦心して造った「チャーチル閣下の化学兵器」は公の戦史にはどこにも見当たらない。何故「チャーチル閣下の化学兵器」が忘れ去られてしまったのであろうか。チャーチルが海軍大臣として中心となって計画したドイツの同盟国トルコを攻略するためのダーダネルス作戦の大敗がイギリス国民にあまりにも大きな衝撃を与えたからである。

（いのうえ　なおひで　医学研究院教授）

第41回貴重文物展観及び公開講演会を開催

中央図書館では、５月11日の開学記念日(89周年)の一環として貴重文物展観（５月８日～５月14日）と公開講演会（５月11日）を開催しました。

「平安朝文学入門」－竹取・伊勢・源氏の世界－をテーマにした本展観では、平安時代の物語でおなじみの『竹取物語』、『伊勢物語』、『源氏物語』及び、それに関連する書物約50点を展示しました。また、本館研究開発室で鋭意計画を進めている資料電子化事業の中で、『古活字版源氏物語』等、本テーマに関連する電子化資料を併設展示しました。

会期中355名の来場者がありましたが、その約半数近くが一般市民の方で、関心の深さがうかがえました。

また、11日には[平安朝文学の楽しみ方」と題して、大学院人文科学研究院今西裕一郎教授による公開講演会を開催しました。『古今和歌集』、『拾遺和歌集』等の和歌のわかりやすい解説などにより、160名の聴講者は熱心に耳を傾けていました。

貴重文物展観

公開講演会

［アンケートの感想から］

・日本人の持つ雅の文化や歌心がわかった。
（福岡市　女性）

・これを機会に、平安朝の文学（伊勢物語）を読み返したい。
（福岡市　女性）

・近世の人々が古典にどう接していたかに興味をもっています。古い故に貴重という資料よりも、注釈、書き込みなどのあるものに興味を感じました。
（名誉教授　男性）

・平安朝文学の親しみ方に目を開かれた思いです。
（福岡市　女性）

・展示と一緒に物語についての注釈（わかりやすいもの）をつけてくれるとありがたい。伊勢物語の挿絵の展示はとてもよかった。高校時代の古典は受験のためのものでしたが、今は古典がどうやってこの時代にまでたどりついたのかとか、物語が書かれた様子とかを純粋に楽しむことができます。
（学生　女性）

・会場の日本的な、お花が、心地よい演出だった。
（福岡市　女性）

・久しぶりに平安朝文学の「かおり」に接し、大変よかった。
（教官　男性）

・このような貴重資料を持っていることは素晴らしい。
（福岡県　男性）

・古筆の美に感動しました。
（東京都　女性）

・市民にも公開していることが、とても嬉しかった。
（福岡市　男性）

・展示会と講演が一緒になっているのが良い。
（教官　男性）

・竹取、伊勢、源氏を一堂に展示していたので対比ができ、資料も多すぎず良かった。その他、季節の花など素敵でした。（福岡市　女性）

・展示資料を、現代かなに説明してあれば、より親しめるとおもう。（福岡市　女性）

・時代名に西暦も並記してほしい。
（福岡県　女性）

・講演会がたのしく、すばらしかった。
（院生　女性）

・もっと広くPRして欲しい。
（福岡市　男性）

・久しぶりに文学の話を楽しく聞かせていただきました。（教官　男性）

・インターネットで見ることが出来て驚いた。
（滋賀県　男性）

・このような企画を今後も続けていただきたく存じます。具体的な展示物の名称がチラシに掲載してあれば事前にわかってよかったように思います。
（福岡県　男性）

・インターネットでこれほどきれいなものが見られるようになっているのには驚きました。講演会のほうも興味深く聴講しました。
（学生　女性）

・絵巻がとてもきれいで感動しました。書物も時代を感じ、興味深かったです。貴重な足跡を知ることができてよかったと思います。
（職員　女性）

・原本にふれ、読めないところばかりでしたが、これからもう少し勉強して、また古典に親しみたいと思います。
（福岡県　女性）

マルチメディア掲示板の設置について

中央図書館の玄関を入ると正面に大きなディスプレイが目に入ります。

これはマルチメディア掲示板システムといい、平成12年３月に大型計算機センター（現、情報基盤センター）との連携協力により導入設置したものです。本システムは100インチディスプレイ、制御装置、案内情報作成用パソコン、及びネットワーク連携用パソコンから構成されており、情報基盤センター及び附属図書館で作成・蓄積された高精細な電子化画像データをはじめ、利用者への各種案内情報、インターネット上の情報、ＶＴＲ、ＤＶＤの情報等、利用者に有益な情報をタイムリーに提供します。

本学に所蔵する貴重資料の高精細画像情報の電子

展示や、図書館からのお知らせ・ご案内・お願い等、最新のトピックやニュースを表示していますので、図書館に入館の際は是非立ち止まってご覧ください。

本年度の研究開発室活動

平成８年に設置された研究開発室では、図書館が行う教育研究支援活動の改善に関する事項のうち、高度な図書館サービスの実現に寄与することを目的とした研究開発活動を行っています。平成11年度には、専任の助教授も配置され、ますますその実をあげつつあります。

本年度の研究開発事項及び室員は次のとおりです。

１　九州大学附属図書館における電子図書館システムの研究開発

室　　員　南　俊朗　研究開発室助教授

竹田正幸　システム情報科学研究院助教授

九州大学附属図書館における電子図書館化推進のための基礎及び実用化研究を行います。特に、図書目録カードのイメージデータを用いた書誌情報検索支援システムに関し、利用者と管理者の双方に対する総合的な支援を行うシステムの実現に重点をおき研究開発を進めます。

さらに、電子図書館機能の実現方式を研究するとともに、マルチメディアデータベース、分散データベース、全文検索および自然言語処理等の各種要素技術の研究開発を行います。

２　九州大学附属図書館所蔵の貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発

室　　員　今西裕一郎　人文科学研究院教授

九州大学附属図書館で所蔵する貴重資料の画像及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、入力方式、表示方式、検索法等に関する研究開発を行います。

３　内外大学図書館の組織、運営及びサービスに関する調査研究

室　　員　柳原正治　法学研究院教授

九州大学のキャンパス移転後の新図書館建設計画策定並びに図書館サービスの高度化及び図書館業務改善に向け内外大学図書館の組織、運営及びサービスに関する情報収集と調査研究を行います。

４　韓国との間における図書館間交流の推進に関する調査研究

室　　員　松原孝俊　言語文化研究院教授

九州大学附属図書館はソウル大学校中央図書館との間に図書館交流協定を締結しました。また、平成11年度に附属図書館が所蔵する韓国関連資料を基に日本と韓国との文化交流をテーマとした講演会、貴重文物展観を実施しました。さらに、Korea　Foundationの助成を得て図書館間学術交流に関する基礎的研究を認められています。そこで、これらに関する具体的な計画立案と実施に関する調査研究を行います。

５　九州大学附属図書館所蔵の古書・文書データベース構築に関する調査研究

室　　員　吉田昌彦　比較社会文化研究院教授

古書・文書整理検討委員会から出された報告書（平成９年２月）に盛り込まれた検討の後を受け、九州大学附属図書館及び各部局毎に分散所蔵している古文書類の一元化された目録データベースを作成、電子化するための方策等について具体化するための調査研究を行います。

６　医学分館所蔵貴重古医書のデータベース化及び医史学的、書誌学的な調査研究

室　　員　Wolfgang Michel　言語文化研究院教授

工学部旧保存書庫収蔵の医学部蔵書中には、先達の収集になる多数の16−19世紀の貴重書が含まれています。平成11年度は総長裁量経費により再調査、整理作業を行いました。これの遡及目録、データベース化による公開を促進し、併せてコレクションとしての医史学的及び書誌学的な資料価値等に関する調査研究を行います。

筑紫中央図書室の開室について

平成12年５月15日（月）筑紫中央図書室の開室式が行われた。

開室式には、山添総理工学研究院長を始め筑紫地区各部局長、杉﨑筑紫地区協議会図書専門委員会委員長、安河内事務部長、及び図書館設立のためにご支援いただいた、附属図書館からは有川館長を始め、佐田事務部長、高塩情報管理課長が出席され、短時間ではあったが、盛大なものであった。

山添研究院長（写真１）より挨拶があり、この図書室は特に学生、留学生および筑紫地区に共同研究で来られている方々のためのものであること、また学習の場としてだけでなくリラックスできる場所として利用して欲しいとの話があった。また、この図書室を長期に亘り熱望してきた筑紫地区図書分館実現に向けての第一歩としたいとの決意表明があった。

次に、有川館長から来賓挨拶（写真２）があり、

（写真３）山添理工学研究院長（左）と有川附属図書館長

（写真１）
山添理工学研究院長の挨拶

（写真２）
有川附属図書館長の来賓挨拶

祝辞の中で、筑紫地区における学生のための図書館がないことによる、サービスの不公平さを解消するため、今後も分館設立に向けて積極的に取り組みを進めるという、心強い意見が述べられた。

来賓挨拶の後、有川館長と山添総合理工学院長による、筑紫中央図書室の看板掛け（写真３）が行われ、最後に、図書室の案内で、開室式を終えた。

筑紫中央図書室の概要

筑紫地区の中心には食堂、喫茶室、キャッシュコーナー及び売店がある福利厚生施設（ビスタホール）があり、図書室はその施設内に設置され、利用者が集まって来るには最高の場所である。

図書室開室前は、その一室は図書閲覧室及び情報サロンとして利用されていた。

そのため、軽い読み物の雑誌、新聞が配置された、くつろげる部屋であると共に、最新の情報やメール等が利用できる学内LANに接続されたパソコン23台が設置された部屋であった。

このたびの開室に当たり、従来集会室として使われていた隣の部屋を合併して図書室としてスタートしたが、唯一の欠点は、図書室としては160㎡と狭く、掛員全員が図書室に居て、利用者にサービスができないことである。

・蔵書構成

＊図書　　学生向け学習用図書約800冊を配架。

＊購入雑誌　　73種を配架。

本年度はさらに、図書、雑誌を充実する予定である。（所蔵検索については、現在準備中）

筑紫中央図書室サービス

開館時間（日、祭日を除く）

月曜日～金曜日　午前９時～午後８時　　土曜日　午前９時～午後５時

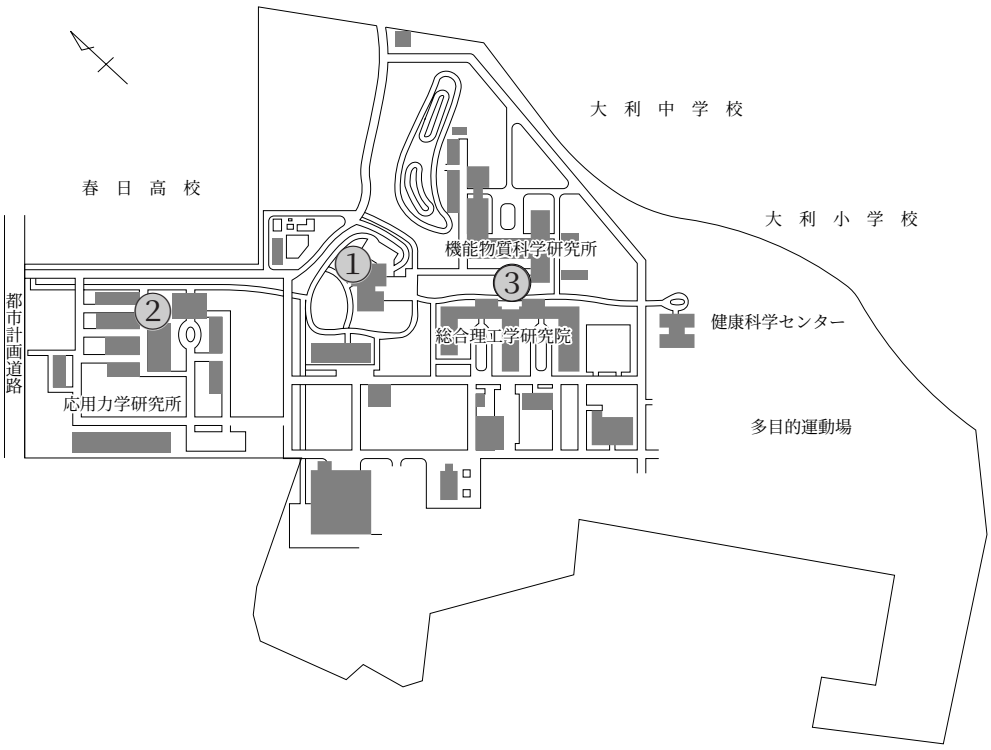
各種サービス

・閲覧サービス：現在は、閲覧だけであるが、図書が充実次第、貸し出しサービスを行う予定。
・レファレンス・サービス：資料の所蔵、所在調査、検索の利用案内を行っている。
・学内所蔵検索：所蔵検索と検索の利用案内を行っている。
・附属図書館、両分館に所蔵する図書の、貸借（学内における図書資料配送サービス）の受け付けを行っている。
・利用についての、詳しいことは「九州大学筑紫中央図書室ホームページ」に記載している。(http : //www.lib.kyushu-u.ac.jp/dep/eng/tosho.htm)

今後はさらに、充実したサービスを目指し、皆様のご利用をお待ちしています。

（総合理工学府等事務部教務課図書掛）

筑 紫 地 区



① 筑紫中央図書室
② 応用力学研究所図書室
③ 機能物質化学研究所図書室

附属図書館商議委員名簿

平成12年４月１日現在

委員長　有川節夫 図書館長
（システム情報科学研究院　教授）

委　員　井上尚英 医学分館長
（医学研究院　教授）

〃　押川元重 六本松分館長
（大学教育研究センター　教授）

〃　安藤　保（人文科学研究院　教授）

〃　今西裕一郎（〃）

〃　清水　展（比較社会文化研究院　教授）

〃　菅　英輝（〃）

〃　田嶌誠一（人間環境学研究院　教授）

〃　中留武昭（〃）

〃　兒玉　寛（法学研究院　教授）

〃　植田信廣（〃）

〃　久野国夫（経済学研究院　教授）

〃　堀江康熙（〃）

〃　青山太郎（言語文化研究院　教授）

〃　田島松二（〃）

〃　前田　悠（理学研究院　教授）

〃　森信俊平（〃）

〃　岩崎克則（数理学研究院　教授）

〃　吉川　敦（〃）

委　員　小宮山荘太郎（医学研究院　教授）

〃　赤池紀生（〃）

〃　坂井英隆（歯学研究院　教授）

〃　前田勝正（〃）

〃　井本泰治（薬学研究院　教授）

〃　古賀　登（〃）

〃　新海征治（工学研究院　教授）

〃　桜井　晃（〃）

〃　迫江博昭
（システム情報科学研究院　教授）

〃　竹尾正勝
（〃）

〃　根本紀夫（総合理工学研究院　教授）

〃　杉崎昌和（〃）

〃　横川　洋（農学研究院　教授）

〃　久原　哲（〃）

〃　中山敬二
（生体防御医学研究所　教授）

〃　今脇資郎（応用力学研究所　教授）

〃　森　章
（機能物質科学研究所　教授）

〃　藤野武彦（健康科学センター　教授）

平成11年度　特別図書購入一覧

学部	図書資料名等	形態	出版社等
文学部	Hessisches Jahrbuch für Landesgeschichte. Bd. 1（1951）－47（1997） （地方史年表　1951－1997）	バックナンバー	Selbstverlag der Herausgeber.
	物語文学書集成（静嘉堂文庫所蔵）　第１編　古物語	マイクロフィルム（35mm　52リール）	雄松堂
人間環境	Storia di Venezia ： I mille e piu anni della serenissima. Vol. 1－8. （ヴェネチアの歴史　全８巻）	オリジナル	Trreccani
法学部	少年保護／日本少年保護協会編纂　第１巻～９巻 （昭和11～19）、別冊４冊	復刻版	文生書院
	Yearbook on Human Rights / Department of Economic and Social Affairs, United Nations. 1946－1988. （国連人権年報　1946－1988）	バックナンバー全13冊	Hein, Kraus.
	Italy. Entries in Papal Register relating to Great Britain and Ireland. Papal Letters. Vol. 1－12. (Coverring1198－1471) （英国・アイルランドに関するローマ法皇記録文書・法皇書簡）	復刻版	G. Britain Public Record Office.
経済学部	Bureau of the Budget Bill reports ： public laws, 87th and 88th congresses. （ケネディー大統領時代の予算局文書）	マイクロフィルム（35mm　23リール）	University Publications of America.
比較社会文化	Records of the U.S. Dept. of State relating to Political Relations between the United States and Japan. 1950－1954. （日米政治関係文書　1950－1954年）	マイクロフィルム（35mm　11リール）	Scholarly Resources, Inc.
	Central Currents in Soical Theory ： the roots of sociological theory 1700－2000.　8 Vols. （社会理論の中心的潮流　全８巻）	冊子体	SAGE Pub.
	CD－ROM Bibliotheca Teubneriana Latina. （ギリシャ・ローマ著作家叢書：ラテン篇　CD－ROM）	CD－ROM Windows95対応	Brepols & Teubner.
中央図書館	International Bibliographie des Zeitschriftenliteratur aus allen Gebieten des Wissens.　Bd. 34（1998） （雑誌論文国際目録　第34巻）	冊子体	F. Dietrich Verl.
	中国書籍総目録　復刻版　第57巻（1989）～第68巻（1991）	冊子体	不二出版
	国書目録叢書　第31巻～第40巻	冊子体	大空社

平成11年度　図書館利用統計

	中央図書館	医学分館	六本松分館	合　　計
入館者数入館者数	334,762	158,951	178,337	672,050
（学外者：内数）	（26,721）	（4,025）	（1,677）	（32,423）
館外貸出冊数	53,243	36,434	38,720	128,397
内訳 教職員	2,489	12,470	8,637	23,596
内訳 学生・院生等	50,430	23,964	30,083	104,477
内訳 学外者	324	0	0	324
レファレンス件数	5,473	14,750	9,432	29,655
内訳 教職員	985	8,113	1,080	10,178
内訳 学生・院生等	2,991	5,900	8,214	17,105
内訳 学外者	1,497	737	138	2,372
内訳 所在調査	2,762	4,432	3,809	11,003
内訳 事項調査	693	6,276	79	7,048
内訳 利用指導・その他	2,018	4,042	5,544	11,604
オンライン情報検索サービス件数	64	235	－	299
内訳 DIALOG	13	18	－	31
内訳 JOIS	46	213	－	259
内訳 NACSIS－IR	5	4	－	9
CD－ROMサーバ情報検索件数	132,167	21,251	－	153,418
文献複写サービス件数	58,120	150,174	8,079	216,373
学内者の複写件数	39,269	104,670	6,896	150,835
学外からの受付件数	14,273	39,552	－	53,825
国内	14,272	39,392	－	53,664
国外	1	160	－	161
学外への依頼件数	4,578	5,952	1,183	11,713
国内	4,483	5,891	1,176	11,550
国外	95	61	7	163
図書・雑誌の相互貸借件数	2,719	156	933	3,808
他機関への貸出件数	1,756	92	531	2,379
他機関からの借用件数	963	64	402	1,429
国内	963	64	394	1,421
国外	0	0	8	8

人　事　異　動

（平成12年３月～平成12年５月）

（中央図書館）

３．16　三木　崇史　（情報管理課）総務部総務課（併任）へ
３．31　舟越　俊允　（情報サービス課図書館専門員）定年退職
４．１　高塩　勝也　情報管理課長（熊本大学附属図書館情報管理課長から）
〃　川野　茂美　（情報管理課長）山形大学附属図書館事務部長へ
〃　海津佳寿美　庶務掛（文部省高等教育局大学課大学改革推進室から）
〃　岩崎　正治　（庶務掛）大分医科大学業務部医事課外来主任へ
〃　山本　善之　会計掛（農学部用度掛から）
〃　堤　圭三　（会計掛）経理部病院地区調達室第三契約掛へ
〃　堀之口廣教　図書情報第一掛長（図書情報掛長から）
〃　大村　明美　図書情報第一掛（情報サービス課参考調査掛から）
〃　藤原　愛子　図書情報第一掛（図書情報掛から）
〃　相部久美子　図書情報第一掛（図書情報掛から）
〃　保田　秀人　図書情報第二掛長（理学部等図書掛長から）
〃　吉村　千明　図書情報第二掛（理学部分子科学専攻事務から）
〃　稲益眞智子　図書情報第二掛（農学部図書掛から）
〃　一木　隆子　図書情報第二掛（情報システム課データベース掛から）
〃　瓜生　照久　雑誌情報掛長（長崎大学附属図書館情報管理課システム管理係長から）
〃　大平　久司　雑誌情報掛（理学部等図書掛から）
〃　古賀　幸成　情報サービス課図書館専門員（閲覧掛長から）
〃　渡辺龍之助　情報サービス第一掛長（経済学部図書掛長から）
〃　秋月　滋　情報サービス第一掛（閲覧掛から）
〃　柴田とみ子　情報サービス第一掛（閲覧掛から）
〃　齊藤　亜矢　情報サービス第一掛（閲覧掛から）
〃　田村　雅生　情報サービス第二掛長（農学部図書掛長から）
〃　金丸委津子　情報サービス第二掛（農学部図書掛から）
〃　原田真理子　情報サービス第二掛（理学部等図書掛から）
〃　吉松　伸恵　相互利用掛（理学部図書掛から）
〃　山口　良子　データベース掛（九州芸術工科大学附属図書館整理係から）
〃　長野　ふみ　データベース掛（電子情報掛から）
〃　西村　理絵　電子情報掛（長崎大学附属図書館医学分館運用係から）

（医学分館）

４．１　井上　尚英　附属図書館医学分館長（任期は平成14年３月31日まで）
〃　青木　圭子　受入目録掛（採用）
〃　樋口　伸子　参考調査掛（薬学部庶務掛図書主任から）
〃　常岡　正子　受入目録掛（教育学部図書掛から）
〃　江尻　純子　相互利用掛（参考調査掛から）
〃　大瀧　礼二　（参考調査掛）情報基盤センター附属図書館分室電子情報サービス掛へ

（六本松分館）
4．1　押川　元重　附属図書館六本松分館長（任期は平成14年３月31日まで）
〃　上田はるみ　目録掛（受入掛から）
〃　西田　恭子　受入掛（総務部人事課第一任用掛から）
（文学部）
3．31　梅津　正子　（図書掛）定年退職
4．1　山崎　法子　図書掛（理学部等図書掛から）
（教育学部等）
3．31　常岡　正子　（図書掛）退職
4．1　入江いつ子　図書掛（医学分館受入目録掛から）
（法学部）
3．30　池田　文保　図書掛（死亡）
3．31　安川　澄子　（図書掛）定年退職
4．1　仲　タカノ　図書掛（理学部等図書掛から）
〃　別府　妙子　図書掛（六本松分館目録掛から）
〃　渡邊由紀子　（図書掛）宮崎医科大学教務部図書課情報サービス係長へ
（経済学部）
3．31　田中　　糀　（図書掛）定年退職
4．1　阿部　蕗子　図書掛長（附属図書館情報管理課雑誌情報掛長から）
〃　田中由紀子　図書掛（農学部図書掛から）
〃　小林　伸子　図書掛（医学分館受入目録掛から）
〃　井ノ上俊哉　（図書掛）鹿児島大学附属図書館情報サービス課桜ヶ丘分館情報サービス係長へ
〃　古賀由紀子　文部省大臣官房調査統計企画課へ（併任解除・図書掛）
（理学部等）
3．16　三木　崇史　（図書掛）附属図書館情報管理課へ
（農学部）
3．31　石井　和子　（図書掛）退職
4．1　宮脇　英俊　（図書掛）長崎大学附属図書館情報管理課システム管理係長へ
〃　佐藤久美子　（図書掛）大阪大学附属図書館医学情報課雑誌情報掛へ
〃　内田　奈緒　（図書掛）農学部用度掛へ
〃　森内奈津美　（図書掛）農学部庶務掛へ
（工学部等）
4．1　青木　良秀　総務課図書掛（附属図書館情報システム課電子情報掛から）
〃　浅岡　宏信　（図書掛）佐賀大学附属図書館へ

○情報基盤センター図書館分室
4．1　小川　　稔　電子図書館掛長（宮崎医科大学教務部図書課情報管理係長から）
〃　今林　安雄　電子情報サービス掛長（鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館管理係長から）
〃　大瀧　礼二　電子情報サービス掛（医学分館参考調査掛から）

図書館日誌

（平成12年３月～平成12年５月）

３．１　講演会「附属図書館の中・長期計画について」（中央図書館）
　　（講師：有川節夫附属図書館長）
　　６　目録システム地域講習会担当者連絡会議（学術情報センター）
　　７　第６回「図書館電子計算機システム」仕様策定委員会（中央図書館）
　　７　第４回システム検討ワーキンググループ総括WG（中央図書館）
　　15　全学図書系掛長会議（中央図書館）
　　17　大学図書館情報化担当者会議（学術総合センター）
　　22　第５回電子ジャーナルの導入に関する検討WG（中央図書館）
　　22　附属図書館研究開発室会議（中央図書館）
　　23　マルチメディア著作権に関するフォーラム（国立民族学博物館）
　　23　ソウル大学校中央図書館へ出張（図書館長他２名）（25日まで）
　　24　福岡市総合図書館運営審議会（福岡市総合図書館）
４．20　第30回九州地区国立大学図書館協議会（琉球大学）
　　21　第51回九州地区大学図書館協議会総会（琉球大学）
　　22　国立大学図書館協議会臨時常務理事会（東京大学）
　　24　図書館電子計算機システム入札説明会（中央図書館）
　　27　平成12年度第１回「図書館情報」編集委員会（中央図書館）
５．８　第41回貴重文物展観「平安朝文学入門－竹取・伊勢・源氏の世界－」（中央図書館）（14日まで）
　　８　第１回図書館英文広報ワーキンググループ（中央図書館）
　　11　公開講演会「平安朝文学の楽しみ方」（中央図書館）
　　（講師：大学院人文科学研究院　今西裕一郎教授）
　　15　筑紫中央図書室開室式（筑紫地区）
　　19　平成12年度第１回全学図書系掛長会議（中央図書館）
　　19　第６回電子ジャーナルの導入に関する検討WG（中央図書館）
　　23　国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）
　　24　国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会（東京大学）
　　24　国立大学図書館協議会著作権特別委員会（第２回）（東京大学）
　　24　国立大学図書館協議会・常務理事会（東京大学）
　　25　国立大学図書館協議会図書館電子化システム特別委員会（東京大学）
　　25　国立大学図書館協議会・理事会（東京大学）
　　26　国立大学図書館協議会と国立情報学研究所との業務連絡会（国立情報学研究所）
　　26　福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（久留米大学御井図書館）
　　29　平成12年度目録システム地域講習会（図書コース）（九州大学会場）
　　（国立情報学研究所主催）（31日まで）
　　29　平成12年度第１回研究開発室会議（中央図書館）

自著紹介

西村　明（大学院経済学研究院教授）

『会計の統制機能と管理会計』

［中央図書館　366.84／N 84］

本書は、管理会計という極めて実務的、実践的な研究対象の奥底に流れている基本的な論理・概念を抽出し、その論理・概念の発展を考察したものである。実務的な研究対象をそのものとして説明し、ある種の役立ちに満足する限り、科学は不必要なものになるであろう。このような立場から、会計の基本性格から、伝統的な原価計算や管理会計を考察し、また計量的・情報的な管理会計の意味と限界を明確にし、最後に日本的管理会計が切り開いた新たな視点を解明している。このような考察を通して、特に社会科学におけるフィードーフォワード思考の重要性を強調している。今日、フィードバック思考・統制では修復・回復し難い問題が企業をとりまいており、人間本来の予測能力と予防措置思考を会計という領域でどのようにシステム化し、問題を事前に認識し・解決し、自然と調和した、人間性を基底にした経済を構築するかが大きな課題である。

本書では、このような観点を踏まえつつ現代的な経営会計問題に接近し、真の意味での実務的役立ちを追究している。

田北廣道（大学院経済学研究院教授）
藤井美男（大学院経済学研究院教授）

『中・近世西欧における社会統合の諸相』

［経済学部図書室　332.3／Ta 73／2000114］

近代資本主義の形成に先行する中世・近世西欧（中欧）社会が、身分制的特質のもと、様々なレベルの領主制と共同体に基礎づけられていたことは良く知られている。本論文集は、中・近世西欧における社会諸層が、それぞれの属する領主制や共同体の枠組みを越え多様な回路で取り結ぶ、対立と依存を含む複合的な関係を、「社会統合」をキーワードとして「都市・農村関係」、「領主制」、「生産・流通」、「権力構造」の４側面につき実証的に読み解くことを目標とした。そこで提示された諸成果は、領主制と共同体、都市と農村、スットクとフローなど原理的な対抗図式に立脚してきた、これまでの所説に反省を迫るとともに、社会諸層の取り結ぶ多様な紐帯を浮き彫りにしつつ、「社会統合」と「その編成替え」の諸相を厚い史料証言に基づき明らかにしている。

渡慶次睦範（大学院理学研究院教授）

『Species Coexistence : Ecological and Evolutionary Perspectives』

［中央図書館　468／To 29］

本書は生物多様性と種の共存の問題を生態的、進化的側面の両方から総合的に、しかも論理的な筋を

通しつつ捉えようとする、群集生態学のテキストとして斬新な試みである。複数の生物種が共存するということは、地球上における生態系の最も基本的な特性であり、共存のパターンとメカニズムを探ることは群集生態学の中心的課題である。本書では13章にわたって、多様性の時間的・空間的パターンを大から小におよぶあらゆるスケールで概観した後、共存のメカニズムについて様々な視点から考察している。内容的には大学院レベル以上の者に適切であり、生態・進化学の国際誌TREEの最新の号で「多岐にわたる問題を表面的にではなく掘り下げて取り扱い、新しい視点を提供する刺激的な本」と紹介された。同じブラックウェル出版から出ている生態学の入門レベルの教科書と比べて英語が難しいが、研究者を志す者にとっては良い参考となろう。

ヴォルフガング・ミヒェル(大学院言語文化研究院教授)
『Von Leipzig nach Japan : Der Chirurg und Handelsmann Caspar Schamberger(1623–1706)』

［六本松分館　289.3／Sc　1／58990052］

ライプツィヒから日本へ

人文科学における学術論文の構成や文体が、文化圏によりかなり異なっているのは周知のことであるが、ドイツ人の文章は長くて複雑なことと、膨大な脚注とで知られている。筆者も、学校や大学で長年の間に身についてしまった、このドイツ的風潮の犠牲者といえなくもないが、一方で英語圏の著者達の明瞭な文章に憧れてもいる。今回の本の執筆にあたっては、学術的な正確さと洗練された文体を両立させ、「Historia」という語の原義（歴史・物語）を再考しつつ筆を進めようと心がけた。

カスパル・シャムベルゲルの「物語」の舞台は17世紀、日本が外界との交流を制限していた時代である。以前から彼は医史学者の間で、日本の紅毛流外科の始祖として知られてはいたが、その生涯にわたる経歴や日本で誕生した新しい医学パラダイムの背景などについてはほとんど謎のままだった。偶然発見した資料に触発され、筆者は90年代の夏はほとんど旧東ドイツやオランダ、日本の公文書館、図書館、個人のコレクションの調査にあけくれた。ときには困難を伴うこともあったが、それでも次第に、この人物の詳細な生涯像や当時の状況が明らかになっていった。30年戦争中の幼年期、当時のライプツィヒにおける外科医と床屋組合の確執、ギルドでの見習い修行、各地への修行の旅、オランダ東インド会社入社、バタヴィアへの航海、1649年から1651年までの２年間の日本滞在（そのうち半分は江戸に滞在）、通詞猪股伝兵衛の業績、大目付井上筑後守政重の役割、新しい医学パラダイムの構成要因、「カスパル流外科」の普及に寄与した弟子河口良庵、シャムベルゲルのヨーロッパへの帰郷、商人としての第２の人生、彼の家族と財産、晩年と死、シャムベルゲル家の没落等々を本書では取り上げている。

この「歴史上の探検」を続ける中で、筆者は大いに刺激を受けた。普段なら決して出会うことのない人々と知り合うことができ、また、シャムベルゲルの足跡をたどるため、私にとっては未知の国であった旧東ドイツへも毎年出かけて行くことになった。こうして1990年の東西ドイツ統一後のライプツィヒを覆っていた挫折感や、人々の歓喜と不安、その後の復興への手探りの努力などに現地でじかに触れることができたことは、得がたい体験であった。

本学関係者著作寄贈図書

蔵書の充実を図るため、図書館では著作物刊行の節は一部ご寄贈くださるようお願いしております。今回は次の教官からご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

〔中央図書館〕

西村明（大学院経済学研究院教授）
「会計の統制機能と管理会計」
西村明著
同文舘出版　2000
［中央図書館　366.84／N 84］

迫野虔徳（大学院人文科学研究院教授）
「文献方言史研究」
迫野虔徳著
清文堂出版　1998
［中央図書館　818／Sa 43］

園井英秀（大学院人文科学研究院教授）
「冬の目覚め：ロバート・グレイヴズの詩と批判」
園井英秀著
九州大学出版会　1999
［中央図書館　931.7／So 47／A, B］

田中俊明（大学院言語文化研究院教授）
田畑善之（情報基盤センター教授）
「マルチメディア時代のドイツ語教育」
田中俊明、田畑善之著
九州大学出版会　2000
［中央図書館　840.7／Ta 84／A］

上田誠之助（農学部名誉教授）
「日本酒の起源：カビ・麹・酒の系譜」
上田誠之助著
八坂書房　1999
［中央図書館　588.5／U 32／A］

渡慶次睦範（大学院理学研究院教授）
「Species coexistence : ecological and evolutionary perspectives」
M. Tokeshi.
Oxford ; Malden, MA, USA : Blackwell Science, 1998
［中央図書館　468／To 29］

〔六本松分館〕

ヴォルフガング・ミヒェル（大学院言語文化研究院教授）
「Von Leipzig nach Japan : der Chirurg und Handelsmann Caspar Schamberger（1623−1706）」
Wolfgang Michel.
Munchen : Iudicium, c1999.
［六本松分館　289.3／Sc 1／58990052］

〔経済学部〕

田北廣道（大学院経済学研究院教授）
藤井美男（大学院経済学研究院教授）
「中・近世西欧における社会統合の諸相」
田北廣道編著
九州大学出版会　2000
［経済学部図書室　332.3／Ta 73／2000114］

九州大学附属図書館ホームページでは、図書館が提供する様々なデータベースを検索することができます。学内のインターネットに接続されたパソコンから利用できます。ホームページのアドレスは次のとおりです。

URL : http : //www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html

①九州大学所蔵の図書・雑誌検索(OPAC)――学外からも利用できます

②全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌検索(Webcat)――学外からも利用できます

③OVID CDサーバ検索――ユーザ登録が必要です

- Current Contents. All Editions（全分野の目次速報、抄録付き）
- MEDLINE（医学生物学文献、抄録付き）
- ERIC（教育学文献、抄録付き）
- PsycLIT（心理学文献、抄録付き）
- EBMR（Evidence-Based Medicine Reviews. 科学的根拠に基づく医療データベース）
- CancerLIT（ガン関連文献、抄録付き）

④NSCDNet CDサーバ検索

- CA CI12th－13th（1987－1996）on CD（化学文献、抄録付き）
- 医学中央雑誌（抄録付き）
- 雑誌記事索引
- Journal Citation Reports 1998：Science edition (Impact Factor data)

⑤Web of Science : SCI Expanded（自然科学系引用文献索引、抄録付き）

＊＊図書館情報記事訂正のお知らせ＊＊

前号（第35巻第４号）の「文献の書誌情報を調べる－OVID検索システム－」の記事の中で、64頁下から５行目の利用申し込みのアドレスが変更されています。

下記のとおり訂正させていただきます。

（旧）http：//133. 5. 128. 14/ovidweb/riyo.htm

↓

（新）http：//133. 5. 128. 14/ovidweb/setsumei.pdf

九州大学附属図書館報「図書館情報」 Vol. 36, No. 1（通巻195号）
編集発行 九州大学附属図書館 2000年６月30日
〒812-8581 福岡市東区箱崎６丁目10番１号 電話(092)642-2336（ダイヤルイン）